

大人たち全員で、地域全体で、子供たち全員をもっと愛して、見守り、育む。

北筑後ブロックPTA研修会

11月19日(土)久留米市の久留米シティプラザにおいて、福岡県PTA連合会北筑後ブロック研修会が開催されました。「心豊かで、たくましく生きる子どもを育むPTA活動」をテーマとし、会員の資質向上を目指しPTA活動の活性化を図る研修会です。講演会には、九州歯科大学附属歯科衛生学院兼任講師の吉野賢一氏をお招きし、「脳から見た子育て」と題して講演がありました。男女の脳の性差の説明に始まり、猿と人間の脳のわずかな違いが社会の仕組みを変えているという話。人間の脳は一家団欒の食卓が育むという説明や、子どもは食べる時、食べることによって多くのことを学び、食を通して相手に共感するという事を学んだ脳は、相手の心を思いやる事が出来るようになるという、とても興味深い講演でした。子どもたちには学ぶ権利があり、大人にはその学びの環境を提供する義務があります。

挑むということ

11月26日(土)4回目の土曜授業。この日は地域公開授業として、保護者以外の地域の方々にも参観して頂きました。全体懇談会では、学校運営協議委員の野見山さんと糸井校長先生による寸劇でテストへの取り組み方を考えさせられました。その後のパネルディスカッションでは「挑んでいこう!私の学力」と題し、6年生代表(2名)と牟田先生と保護者代表による意見交換が行われました。それぞれの立場から勉強にどう挑んでいるか、どう挑んで欲しいかが語られました。子どもが普段どんな気持ちで授業や勉強に取り組んでいるのかを知ることが出来た有意義な時間だったと思います。



雨にも負けず...

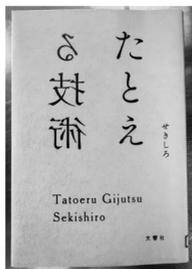
12月4日(日)悪天候のため一週間延期して資源回収が行われました。が、この日もあいにくの小雨模様。ですが、雨の中、搬入されてくださる保護者や地域の方々や雨に濡れながらも対応する地方委員と担当の先生方の姿が運動場にありました。雨にも負けず、集められた資源ごみは現金に変わり、児童や地方分会にフィードバックされて行くリサイクルの美しい流れです。多いに越したことはなく、今後も皆様、地域全体のご協力をお願い致します。

たとえる技術

せきしろ・著 文響社

この本は〇〇のような本である。「たとえる」と一瞬にして目の前の世界が変わる。それは風景を鮮明にし、感情を際立たせ、想像力を掻き立て、そして伝わる。見えるものも見えないものも、すべてを変えるのだ。とはいえ、たとえが万能であるとは思わないし、社会生活を送るうえで必要不可欠ではないことはわかっている。しかしたとえは何かのきっかけになる。目の前の世界が変わったように、あなたの何かが変わるはずだ。本書はそのきっかけを与えたい。(前書きより)ものごとは、たとえないよりたとえた方がいい。この本は会話に弾みをつけてくれるような本である。

ブックレビュー
読む(読も来)



共通理解

11月28日(月)。筑前町の子どもの教育に関わる関係者が一堂に会し、学力研修会が開かれました。全国学力調査結果からみた筑前町の児童生徒の学力の実態と、日頃の成果・課題が取り上げられ、学校、家庭、地域で情報を共有する機会になりました。その中で、保護者として意識しなくてはならないのは、家庭での学習時間が全国平均より小中共に短く、家庭学習時間が短いと学力も低いという現実(数値結果)です。子どもたちに学力を身に付けさせるためには、自らが「問い」を持ち、自発的な学習を促す指導の工夫と環境が親に求められています。

「子どもたちの未来を拓く学力向上の方策」と題したパネルディスカッションでは、中牟田小学校の学校運営協議委員として大松桂香さんが参加され、放課後のエンジェルの紹介をされました。マンツーマンにより子どもの性格を理解した上で指導出来るメリット。子どもの勉強に向かう姿勢が少しずつ成長していく過程に接することにより、教える側の気持ちも満たされ、モチベーションも維持されるという実践報告がなされました。学力だけではなく、学校と保護者の共通理解、共通実践により中牟田小学校の向上につなげていけたらと思います。

期末PTA・マラソン大会

2学期末PTAが行われました。糸井校長先生の学校説明会に始まり、各学年に分かれて学年集会が開かれました。様々な意見交換が出来た事と思います。前述している保護者と先生の共通理解、切磋琢磨の時間です。仕事の都合等により今回参加出来なかった保護者の方々は、次回は是非ご参加してみてください。子どもたちが、学校が昨日よりも好きになれる。

同日、マラソン大会も予定していましたが、28年度のお約束のように雨による一日延期となりました。途中でやめない、諦めない子どもたちの姿にエネルギーを分けてもらいました。



損は損じゃない

自分を守る。それは本能。本能的に身を守る。生きるために…。それ故に人間は嘘も付けば、他人も傷つける…。野生時代から培われた生きる術だけど、人間としてはそれだけではいけないから大脳新皮質を発達させてきた。欲望を制御するための機能。その機能が鈍っているような…。この機能は、自然と成熟するものではなく、鍛えて育てて新皮質となる。鈍っているのではなく、育っていない、成長していないのではない。育つ環境が今の日本にはないのかも知れない。我慢が出来ない大人たち。我慢を知らない子どもたち。小金持ちの少し裕福な感じのゆるい緩慢な日本の環境では発達しない機能なのかも知れない。そんな時代に今の僕たちはいるのかも知れない。事が起きる。誰かを責める。短絡的に事を解決しようとしているような…。責めて問題は解決したのかな? 誰かが誰かのせいにして、非難から逃れて、誰かが満足しただけかも知れない。事が起きる。でも、誰かが悪いわけではない。他人を責める前に自分を反省できる人間は美しい。損して得取れ。損な気分を味わった時、得した気分思考を切り替えられる人間は、きっと幸せに生きられる。幸せに生きるためには、本能だけでは生きて行けない。裕福なことは必ずしも幸せではなく、人はパンのみに生きるにあらず。あなたは人を愛していますか…? 誰かが僕にそんなことを語らせる…。とりあえず、今夜は耳の奥でリフレインするクリスマス・キャロルのせいでおこう…。

1月

PTAスケジュール

- 1/10(火)・16(月) 朝のあいさつ運動
- 1/15(日) 学校運営協議委員会
- 1/20(金) 薬物乱用防止教室
- 1/21(土) 土曜授業 選考委員会